

＜新刊案内＞

青春出版社

2100 頭の犬の問題行動を解決！新時代のドッグトレーナー最新刊！

やってはいけない愛犬のしつけ

このたび、青春出版社（東京都新宿区）は、『やってはいけない愛犬のしつけ』（著・中西典子）を4月20日に刊行いたしました。

**犬だって人間と同じ！
ハラスメント的なしつけは効果がありません！**

近年、飼い犬を取り巻く環境は大きく変化しています。「犬は家族の一員」という認識が広がり、最近では外で飼うことはあまりなく、室内で飼うことが主流になってきました。室内と一緒に暮らすということは、それほど犬との距離が縮まっている一方、「かみぐせ」や「ムダ吠え」などの問題行動に悩む飼い主も増えているといいます。

実は、犬のしつけ事情も昔と比べてだいぶ変わってきています。「甘がみをしたら、ノドに手を入れて叱る」「ごはんを目の前に置いて長く“マテ”をさせる」など、従来よしとされてきたような「厳しいしつけ」では、問題行動は解決できませんし、犬との信頼関係もずっと築くことはできません。

本書では、2100 頭の犬の問題行動を解決してきたドッグトレーナー・中西典子さんが、これまでの常識とされてきた「やってはいけないしつけ」を正し、「新しいしつけの新常識」を紹介します。「愛犬をどうしつけるか」だけでなく、「愛犬とどう接していくか、生きていくか」を考えさせてくれる一冊です。

新書判／1080円（税込）／2019年4月20日刊行



中西典子(なかにし・のりこ)

日本メンタルドッグ コーチ協会代表理事、アラン・コーベン公認ライフコーチ、プロフェッショナルドッグセラピスト。「社会と他人に迷惑をかけない」「飼い主と犬に危険が及ばない」ことを原則とし、定番のしつけ常識に縛られない「新しいしつけ」を「よりそイズム®」として提案。愛犬になるべくガマンをさせずに犬らしい生活を送らせてあげながら、人も犬も心地よく暮らせると大人気！新時代のドッグトレーナーとして活躍中。著書に『犬とのよりそイズム』（緑書房）などがある。「愛犬の友」にて好評連載中（「中西がゆく！」）。



本件に関するお問い合わせ先

株式会社青春出版社 プロモーション部:西尾 春香 〒162-0056 東京都新宿区若松町 12-1

TEL: 03-3202-1212 / FAX: 03-3203-5130 E-mail: h-nishio@seishun.co.jp

こんな「しつけ」やっていませんか？

トイレ以外の場所でそそうをしたら
大声や大きな音を立てて叱る



実は、大きな声で叱ることで、かえってそそうが増えてしまうことも。

飼い主に反応されたことがうれしくて余計にそそうをするようになります。

また、そそうをした犬を叩いて叱るのは絶対にやめましょう。犬はそれを攻撃と捉え、トイレを覚えるどころか関係を壊してしまうこともあるのです。

～●トイレの教え方●～

まず、そそうをしてしまうのは、飼い主がうまく指導してあげられていない場合が多いです。子犬のときに、排泄しそうなタイミングを見て、上手にトイレまで誘導してあげるのがコツ（このとき、抱っこしてトイレの場所に連れて行くのではなく、必ず入口から入るよう仕向けてください）。きちんと教えた場所で排泄ができたら、すぐにほめてあげることも忘れずに。時間を置いてしまうと、犬は何をほめられたのかわからなくなってしまうのです。できるだけ犬と向き合ってあげて、排泄するたびにほめることで、トイレを早く覚えてもらいやすくなります。

ごはんを目の前に置いて長く待たせる



そもそも、ごはんの前の長い「マテ」って必要なことでしょうか？

猫、ウサギなど他のペットたちはそんなことないのに、なぜ犬だけがごはんの前に長く待たされるのでしょうか？

ただ、ごはんの器に飛びついてフードをばらまいてしまうなどの行動があるならば、ごはんをあげる場所を別のところにするなど工夫してみてください。

～●「マテ」の教え方●～

ごはんのときに限らず、「マテ」は覚えてもらった方がよい「しつけ」です。早く覚えてもらうコツは、**犬に失敗（待てずに動いてしまう）を体験させないこと**。最初は1~2秒という短い時間からはじめてみましょう。まずは「オスワリ」をさせて、「マテ」と声をかけます。犬がじっとしている間に、オヤツをあげてください。できるようになったら、10秒、30秒とのばしてみてください。



株式会社青春出版社 プロモーション部:西尾 春香 〒162-0056 東京都新宿区若松町 12-1

TEL: 03-3202-1212 / FAX: 03-3203-5130 E-mail: h-nishio@seishun.co.jp